

登録コード	AS504500	開講年度	2026				
授業科目	山岳フィールド実習B (1)					担当教員	宮本 裕美子
英文授業名	Mountain fieldwork B					副担当	安江 恒
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1・2年次生
講義室				授業形態	実習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【研究科共通】環境調和社会, 知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力					実習および見学を通して多様な山岳フィールドの理解を深められる。	
	【研究科共通】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					実習および見学を通して多様な山岳フィールドの理解を深め, 発信することができる。	
	【研究科共通】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					実習および見学を通して多様な山岳フィールドの理解を深め, 議論検討することができる。	
授業の概要	複合学問としての山岳科学には様々なフィールドがある。山岳科学の諸課題について、自然観察・野外調査・データ解析・レポート作成などを実地で指導する。静岡大学・筑波大学・山梨大学の山岳フィールドで主に実施する。						
Contents:	During Mountain Fieldwork B, the educational research bases maintained by the three universities will be primarily used for fieldwork intended to equip students with field study skills essential to mountain science, as well as cultivate situational assessment and data analysis skills. This year, students should select Mountain Fieldwork B hosted by Tsukuba University, Shizuoka University, and Yamanashi University.						
授業計画	筑波大学、静岡大学および山梨大学が主催する実習のいずれか1つ(1単位分)を必ず履修してください。今年度の実習予定については別紙資料を確認してください。						
成績評価の方法	レポート課題と実習の取り組み態度により総合的に評価する。						
成績評価の基準	総合的な評価点が90点以上を「秀」、80～89点を「優」、70～79点を「良」、60～69点を「可」、59点以下を「不可」とします。						
事前事後学習の内容	各大学の担当教員の指示にしたがう。						
履修上の注意	・山岳科学教育プログラムの修了要件における必修科目です。 ・山岳科学教育プログラム履修生のみ受講可能です。 ・野外調査を行うため、野外活動ができる装備が必要です。 ・宿泊費・食費等の費用がかかります。						
質問,相談への対応	不明な点は担当教員(宮本裕美子 miyamoto_y@shinshu-u.ac.jp)にメールで問い合わせてください。						
学生へのメッセージ	他大学のフィールドにおいて他大学学生と交流できる貴重な機会です。						
【教科書】	特になし。当日に資料を配布する。						
【参考書】	特になし。						